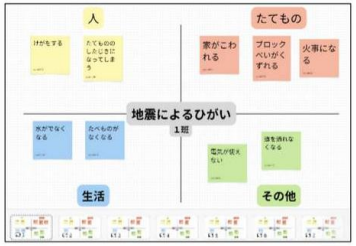
リーディングDXスクール事業 【実践事例】

川西町立川西小学校（奈良県）

【取組内容】 身近な事象から進める「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実

～自然災害から人々を守る活動～ 川西小学校4年生 社会

Ⅰ．自然災害に対して、自分たちにできる災害への備えを選択・判断したりする力をICTを効果的に活用して学習する。インターネットで調べた情報を、フォーム、スプレッドシート、デジタルホワイトボードに落とし込み、川西小学校版の防災ポータルを作成、共有する。



Ⅱ．奈良県で過去に発生した災害をインターネットで調べ、デジタルホワイトボードの付箋機能で班ごとに意見を集約・共有を行う。また、体験学習の感想をチャットで発信し、瞬時に他者の意見を参照することができる他、各自の必要な対策をテーマ設定してスプレッドシートで同じテーマの他者参照を図る

Ⅲ．各自の家庭に必要な日頃の備えを選択させ、フォームとスプレッドシートで、個人間およびグループ間で共有させ、家庭により備えが違うことを確認できる。防災ポータルとして、情報が瞬時に確認できるようURLなどで共有。デジタルホワイトボードで学習の振り返りを行い、まとめた結果を各自で紹介するショートムービーを作成して共有する。